

WALKING MAP

-自然の小径-

網張の森 2kmコース

標準コースタイム：約50分



休暇村 岩手網張温泉

岩手県岩手郡雫石町網張温泉

TEL 019-693-2211

⑧ むかしの名残



網張薬師社は網張温泉の歴史を伝え続けています。江戸時代の山の神信仰によって入浴が禁止さ

れ、周囲に網が張られたところから「網張温泉」と呼ばれるようになったとされています。明治初期になると、ここから約2km先の元湯から引湯し温泉宿を開きました。この平坦な広場にはかつて温泉地としての名残が見られます。



～ウォーキングについて～

- ウォーキングはひとそれぞれのペースで楽しむことが大切です。
- スニーカーやウォーキングシューズなどの歩きやすい靴を着用しましょう。
- ウォーキングによって生じる疲労を回復するためには、休息をたっぷりとることが大切です。
- こまめに水分補給を行いましょう。

⑥ 在来植物と外来植物



このスキー場は開発される時に自然の地形を活かし、改変をほとんど行わなかったため、昔からあ

るマイヅルソウやヨツバヒヨドリなど外来植物が数多く見られます。車や人の出入り、外から土に混じるなどして、元々ここにはなかったセイヨウタンポポやオオハンゴンソウなどの繁殖力の強い外来植物も見られ、在来植物をヒヤヒヤさせています。

⑦ 吊り橋の魅力

この吊り橋の下を流れる湯ノ沢は、硫黄分を含む温泉が流れ込み酸性が強いため



魚類は棲めず飲用もできません。流れる水の音を聞きながら五感を研ぎ澄ませてみましょう。遅い春を迎える頃、日本で一番大きな花を咲かせるホオノキのほのかな甘い香り。橋のあちらこちらにかくれんぼしている虫たちの音。秋にはハウチワカエデの紅葉、トチノキの黄葉など彩り豊かな景色が広がります。

① 細い木のヒミツ

森の入口です。見渡すと細い木がたくさんあります。その昔、この森は、薪などの燃料として使い切りされていました。そのため、これから成長する細い木がたくさんあるというわけです。



② 植物はどんなところに育つの？



森の中に入ってきました。日差しの強い日でも、森の中は背の高い木で太陽の光は遮られ、わずかな光が差し込む程度です。ここではホオノキなどの水分を多く含む土壌で育つ木が見られます。

③ 標高で異なる森の木々



この森はドングリの実をつけるミズナラと、ブナが混じっています。もう少し標高をあげると「ブナの森」さらに上がると雪の

重みに耐えられるダケカンバ、爽やかな香りが特徴のオオシラビソなどの森へと変化していきます。

④ 森は何階建て？



森のなかをじっくりみてみましょう。生えている植物の高さはみんな同じくらいですか？太陽の光を遮る高い木、それよりも

少し低い木、人の背丈、足元の草やコケも見られます。マンションに例えると4階建てのようです。

⑤ 耳をすませみよう！



スキーゲレンデに入ってきました。見晴らしのよいこの草原はカッコウなど野鳥の鳴き声が聞かれ、セミの大合唱が

